

## 2【保護者：学校教育についてのアンケート】

アンケートは、Webと紙で実施し、PTA数107軒のうち56軒（Web43，紙13：52.3%）の方から回答をいただきました。

### (1) 集計結果

#### ① 学校教育への評価

<A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない>

番号	学校の教育活動への評価内容	A+B (数値は%)	
		R4	R5
1	学校は、教育目標や教育方針等をわかりやすく知らせている。	95	95
2	学校は、授業や教育活動等を進んで保護者や地域に公開しようと努めている。	94	95
3	学校は、子供たちに基礎学力を身につけようと努めるとともに、家庭での学習習慣（宿題をきちんとするなど）を定着させるために取り組んでいる。	91	96
4	学校は、可能な限り、豊かな体験活動を通して、ふるさとを愛し、誇りをもたせる教育活動に取り組んでいる。	86	95
5	学校は、子供が進んで読書活動に取り組めるように環境を整備したり、読書指導に取り組んだりしている。	84	93
6	学校は、生活指導（あいさつ、正しい言葉づかい、早寝・早起き、朝ごはん等）に取り組んでいる。	95	96
7	学校は、いじめ防止や友達となかよく助け合って生活しようとする「なかまづくり」に取り組んでいる。	87	91
8	学校は、安全（交通安全、事故防止、不審者対策など）に対する意識を高める取組を計画的にしている。	95	98
9	学校は、環境教育や清掃活動等を通して学校を美しくしようと努力している。	95	98
10	学校は、学級だより・学級だよりや個人懇談、ホームページなどを通じて、子供たちの学習や生活の様子等を知らせている。	99	100

#### ② 保護者の方の振り返り

<A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない>

番号	チェック内容	A+B	
		R4	R5
1	学校からのお知らせ等は、ていねいに読んでいる。	94	95
2	学校行事、PTA活動等には積極的に参加し、協力しようと努めている。	95	96
3	子供のことや心配なことがあるときは、担任や管理職に相談している。	94	96
4	学校や友達の話聞く等、お子さまとのコミュニケーションを積極的に取り、子供の学習状況や生活状況を把握するように努めている。	94	98
5	家庭でのしつけ（あいさつ、言葉づかい、食習慣など）に積極的に取り組んでいる。	93	96

※集計右側の数値は、A「そう思う」 B「だいたいそう思う」の割合の合計です。

※青字は昨年度比+4以上を示しています。

○ 全体的に、昨年度（令和4年度）の結果と大きな変化は見られませんが、次の2項目について、大きく向上しました。

- 4 「学校は、可能な限り、豊かな体験活動を通して、ふるさとを愛し、誇りをもたせる教育活動に取り組んでいる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95% (+9)
- 5 「学校は、子供が進んで読書活動に取り組めるように環境を整備したり、読書指導に取り組んだりしている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93% (+9)

○ 全項目とも90%を上回る高い評価です。特に、学習の様子等の公開については、100%を達成しました。

※「保護者振り返り1～5」各項目ともに95%以上の高い数値です。

## (2) 結果からの考察

- 学校教育への評価および保護者の振り返り、ともに高い評価であることから、保護者の方は学校の教育活動に理解があり、取組を肯定的・協力的に捉えてくださっていることが分かります。
- 学校の教育目標や教育方針、教育活動等についての発信や公開が積極的に行われ、保護者の方の学校教育への関心や理解が深まっています。

学年通信や保健だより等の定期的な便りや校長室だより（藍畑だより）、不定期な学年だより等を通して、日々の学習や生活の中での児童の姿、学校教育目標や教育方針、子供に育みたい力、子供への願いを機会を捉えて発信したことの効果が大きいと考えられます。「いつもおたよりを楽しみに読んでいます」「共感できることがたくさんあります」との声も寄せていただきました。

学校と保護者・地域が連携して子供の教育に関わるためには、目標や方針の共有が欠かせません。次年度も、積極的に発信できるよう努めてまいります。
- 読書指導や読書習慣の育成については、昨年度の反省をもとに、図書委員会の活動を活発にしたり読み語りボランティアのみなさまのお力をお借りしたり、朝の活動で担任が読み聞かせをしたりして、子供たちの読書環境の整備に努めました。その取組については、保護者のみなさまから一定の評価をいただきましたが、子供たちの読書習慣の育成には繋がっていません。

今後、新刊図書の購入をはじめ図書環境の整備・充実を図るとともに、本に親しむ時間や活動場を確保できるよう努めてまいります。

また、読書習慣の形成は、家庭の協力なしには達成が難しい分野です。望ましい読書習慣、ひいては読解力や論理的思考力に繋がる学習習慣の形成にご協力をお願いします。
- いじめ防止や仲間づくりについても90%を超える高評価をいただきましたが、小さなトラブルを含め、仲間はずしや弱い者いじめ、からかい等により辛い思いをした子供は多数存在します。

学年では、指導計画に基づいた人権教育の実践や児童の実態に応じた指導を行っていますが、児童アンケートの結果からも、学びが児童の意識の変容や積極的な行動に至っていないことが分かります。引き続き、担任をはじめ全ての教職員がアンテナを張り、「いじめは絶対にゆるさない」という態度で、いじめの未然防止・早期発見に努めるとともに、全ての児童が「学校が安心できる場所で来るのが楽しい」と思えるよう、一人一人が大切にされ、互いに思いやる仲間づくり、学級・学校づくりをめざし、実践力を育ててまいります。

また、次年度は人権学習の授業公開も予定しており、藍畑小いじめ防止基本方針のHPでの公開、相談体制の周知等、学校での取組を家庭や地域に積極的に発信し、ご理解ご協力をいただきながら、人権教育を推進してまいります。
- 藍畑小学校のめざす児童像の一つに「あいさつをする子」があります。生活指導については、保護者の方からは高い評価をいただいています。児童アンケートでは昨年度よりも4%向上したものの87%という結果であり、「交通立哨のときに挨拶しても返してくれない」というお声も寄せられています。社会に出てまず必要とされる「自分から挨拶できる子」をめざし取組を続けてまいりますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

アンケート回答率は、紙媒体の時代に比べて低くなっています。今年度は、Webと紙とのどちらでも回答できるよう工夫しましたが、半数強の回答率に留まりました。

一方、お答えいただいた保護者の方からは、自由記述の欄に、学校の取組についてのたくさんの貴重なご意見を寄せていただきました。ご意見からは、保護者のみなさまが、学校の取組を広い心で見守り、ともに考え、進もうとくださっているお気持ちや、力を合わせて子供たちや藍畑小学校をよくしていきたいという熱意が伝わり、とても心強くありがたく感じています。

みなさまからいただいた評価やご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動や指導に生かしてまいります。これからも、変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしく願いいたします。